

日能研	6年						
	算数						
学習内容	1回 文章題 平均・差や比に関する問題①2回 文章題 倍数・仕事・ニュートン・相当算②3回 平面図形 性質と求積/図形の移動③4回 平面図形 平面図形と比④5回 比 濃度と売買に関する問題						
家庭学習ポイント	9月は文章題が2回、平面図形が2回、文章題では割合と比の文章題や特殊算(つるかめ算、差集め算、平均など)を、平面図形では角度、面積、相似などを扱います。これまでに学習した内容を分野別に、1回の授業で1分野を総復習するといったペースですから、かなりのスピードです。それぞれの問題で解法や知識・作図方法が定着しているかを確認しつつ、足りない技術や抜けていた知識はその場で補いながら問題を解き続ける、そんな学習サイクルを回していくことが必要です。テキスト後半の応用問題では条件設定が複雑になるため、単元ごとの基本事項のポイントを整理をしっかりと済ませておくことが大切です。その意味で、上記の演習サイクルを回しながら、次回授業の範囲について自分の知識の完成度合いはどうか、確認して臨むことも効果的です。この時期以降は志望校合格に向けて「これまで学習してきたことを、入試問題レベルの問題でどう使うか」がテーマです。知識・考え方のつながりをつくり、初見問題への対応力をアップさせる必要があります。授業は演習主体ですが、間違った問題については「結局何がポイントだったのか」「これまでのどの考え方・解法を使ったのか」など、常に一歩立ち止まって振り返ることが大切です。入試に向けた得点力アップを意識しましょう。						
課題の把握と解決策	チェック1	「演習⇒解説」の授業パターンに慣れて(対応できて)いますか？					チェック
	解決策	「演習した問題から何が学べたか」を常に意識しましょう					□
	チェック2	問題について「○・△・×」をつける習慣ができていますか？					チェック
	解決策	目まぐるしくなる6年生の9月以降、特に大切です					□
	チェック3	次回授業の内容について、大まかな確認ができていますか？					チェック
	解決策	それぞれの分野で基本的な知識がついている状態が望ましいので、できれば実行しましょう					□
	チェック4	過去問の演習計画は立ち初めていますか？					チェック
	解決策	塾からの指示が「遅め」のケースがありますので、ご家庭でカレンダーへのプロットを始めましょう					□
	チェック5	算数だけに膨大な時間と労力を取られていますか？					チェック
	解決策	算数は大切な科目ですが、他教科との学習バランスも注意しておきましょう					□
日能研	6年						
	国語						
学習内容	1回 詩・短歌・俳句 作者の感動①2回 詩・短歌・俳句 情景・感動②3回 物語 場面・情景③4回 物語 心情・性格・主題④5回 物語 作者の意図と主題						
家庭学習ポイント	9月は「詩・短歌・俳句」を2回学習し、続いて物語文の学習に入ります。内容は、表現技法・詩の形式・季語・心情把握・場面把握などの復習となります。また言語知識では同音異義語・同訓異字、三字熟語・四字熟語、ことわざ・慣用句などです。文種ごとの読解法を訓練する期間としては最終のサイクルで、この後、随筆、説明文・論説文を学習したら11月頃から「ファイナル」と銘打った総合問題演習に入ります。9月は後期の日曜特訓が始まるのが最大のポイントで、学習の重心をだんだん日特に移していく流れになります。本科で文種ごとの読解法のおさらいをしながら、志望校に向けた実戦力を日特で培っていきます。日能研は他塾と比較すると、過去問演習のゴーサインを出す時期が遅い傾向があります。前受け校や併願校など、難度が低い学校から前倒して解き始めるのがいいでしょう。国語は、比較的早めに過去問演習を始められる科目です。過去問演習をした後の「直し」でやるべきことは、受験する学校の問題傾向とお子さんの状態によって千差万別です。ぜひ、塾の先生に質問してください。						
課題の把握と解決策	チェック1	後期の日曜特訓を含めた一週間のサイクルができていますか？					チェック
	解決策	後期は本科から日特に重心を変化させていきましょう					□
	チェック2	過去問演習について、スケジュールを立て始めていますか？					チェック
	解決策	「受験校×数年分×4科目×演習時間と答え合わせ」の時間が必要になります。早めの準備が吉です					□
	チェック3	物語文は「場面の変化＝登場人物の心情の変化」をとらえていますか？					チェック
	解決策	物語文においては定番の表現技法です					□
	チェック4	登場人物の言動や情景描写から心情を読み取ることができていますか？					チェック
	解決策	物語文の読解の最大のポイントは「心情」を読み取ることにあります					□
	チェック5	語句の学習をコツコツと続けていますか？					チェック
	解決策	語句の学習は入試日まで続けると心得ておきましょう					□

日能研	6年						
	理科						
学習内容	1回 地球と天体 地層と岩石 ¹ 2回 地球と天体 太陽・気象 ² 3回 地球と天体 天体の動き ³ 4回 熱と温度・音・光 ⁴ 5回 電流						
家庭学習ポイント	9月からは単元別の総復習の最後の機会となります。1～3回は地学、4回は光・音・熱、5回は電流です。1回の授業で、ある分野のすべてを復習するというカリキュラムですので、1回あたりの学習内容が膨大です。その分野について、すべてのパターンの問題ができるわけではなく、代表的な問題を演習しながら確認していくという授業進行なので、「授業で扱った問題だけやっていればOK」と考えてはいけません。その週の内容についての細かな知識は、できればすべて授業前に「メモリーチェック」などを使って（難関校志望者は「コアプラス」「魔法ワザ」などもう少し詳しく解説されている問題集を使いましょう）チェックした上で授業に臨むことが大切です。また特に「天体の動き」の思考・計算問題、熱・音・光や電気などの物理分野の問題については、苦手意識が定着している場合は、本科の授業でおさらいしただけでは問題が解決しない可能性が高いと考えられます。塾の先生に個別に質問して教えてもらったり、場合によってはこの時期ですから個別指導や家庭教師などのサービスをピンポイントに利用することも検討するといでしょう。						
課題の把握と解決策	チェック1	岩石名を「丸覚え」だけでなく整理できていますか？					チェック
	解決策	「砂岩」「礫岩」「泥岩」「凝灰岩」など漢字に接することで堆積物のイメージができますね					☐
	チェック2	地層の新旧を正確に判断できていますか？					チェック
	解決策	「切られたり隠されたりしていない地層ほど新しい」というイメージで考えてみましょう					☐
	チェック3	日本の四季の天気の特徴について、1年分説明できますか？					チェック
	解決策	こちらもやはり1年を通した「ストーリー」があります。本科の説明をもとに組み立ててみましょう					☐
	チェック4	天体の動きの計算問題を苦手としていませんか？					チェック
	解決策	「1時間で15度」「1ヶ月で30度」を使いこなす必要あり。個別や家庭教師で解決する手もあります					☐
	チェック5	知識分野の学習はコツコツ続けていますか？					チェック
解決策	「ルーティン」の学習としての知識学習は入試直前、当日まで続けましょう					☐	
日能研	6年						
	社会						
学習内容	1回 日本の地理 日本の国土・地形・気候 ¹ 2回 日本の地理 日本の農水産業Ⅰ ² 3回 日本の地理 日本の農水産業Ⅱ ³ 4回 日本の地理 日本の工業Ⅰ ⁴ 5回 日本の地理 日本の工業Ⅱ						
家庭学習ポイント	9月から地理・歴史・公民の総復習、最後の一巡が始まります。第1回は「日本の国土・地形・気候」、第2～3回は「日本の農水産業」、第4～5回は「日本の工業」で、各タイトルの要点を確認した上で、問題演習を通して解答できる問題を増やしていく構成になっています。1回で扱う内容が膨大で、授業は問題演習からスタートするのが基本となりますが、気をつけたいのが「知識がなければ問題は解けない」ということです。最低限「一問一答的」な知識が整っていないと、問題演習そのものが成り立ちません。また問題を解いて「正解した」「不正解だった」を確認するのみに陥ってしまつては（大量の問題演習にさらされるため、えてしてこの状態になりがちです）学力、得点力の向上は見込めません。常に問題を1問解いたら「この問題のポイントは何だったのか」「なぜ正解できなかったのか」「どうすれば正解できたのか」など振り返りをしていくことが重要です。						
課題の把握と解決策	チェック1	過去問演習について、スケジュールを立て始めていますか？					チェック
	解決策	特に受験校が多いお子さんは、早めの準備をおすすめします					☐
	チェック2	授業の前に知識のチェックを行っていますか？					チェック
	解決策	使うのは「メモリーチェック」でも「コアプラス」でもいいでしょう					☐
	チェック3	地名、人名などについて漢字で記憶していますか？					チェック
	解決策	入試に向けて知識を固めていくなら、ぜひ漢字で記憶していきましょう					☐
	チェック4	問題を演習することが得点力の向上につながっていますか？					チェック
	解決策	常に問題を1問解いたら「この問題のポイントは何だったのか」を考えるようにしましょう					☐
	チェック5	公開模試の直しはできていますか？					チェック
解決策	合格判定を見て「合格できるように何ができるようになればよいか」を考えるようにしましょう					☐	